

国際基督教大学 平和研究所主催 特別シンポジウム

Minorities and Peace Issues in Japan: An Interdisciplinary Approach

2018.2.24 [土] 13:00 – 17:00

国際基督教大学 東ヶ崎ダイアログハウス 国際会議場

言語：日本語（通訳あり）

近年、ヨーロッパでの難民の大量流入やミャンマーでのロヒンギャの迫害などによって、社会における「マイノリティ」について、国際社会での注目が高まっている。日本でも、国内社会で「マイノリティ」に属する外国人労働者や移民は増加傾向にある。その一方で、彼らやその家族らが地域や学校・職場で抱える課題への取り組みは、まだ十分であるとは言いがたいのではないだろうか。そもそも、マイノリティとは誰を指すのであろうか？彼らのアイデンティティは、どのようなものであるか？彼らを取り巻く社会・労働環境はどのようなものであり、具体的にどのような対策が必要であるといえるか？これらの問いに対して、本シンポジウムは、社会福祉、社会学、国際関係学、法学、社会政策、心理学等の学際的対話からのアプローチを試み、日本におけるマイノリティと平和の課題を吟味する機会を提供する。



在日コリアン集住地“東九条”から考える平和と福祉

石川久仁子 大阪人間科学大学 准教授



The Global Talent Dilemma:

Experiences of Foreign Employees in Japanese Firms

ファーラー、グラシア 早稲田大学 教授



日本の移民・難民政策と平和構築への示唆

明石純一 筑波大学 准教授



なし崩し労働者受入れ政策の被害となる外国人労働者

大坂恭子 ラヴィーダ法律事務所（名古屋）弁護士



指定討論者

石生義人 国際基督教大学 教授



パネル司会

笹尾敏明 国際基督教大学 教授 平和研究所長

(総合司会)

貝賀早希子 国際基督教大学 平和研究所リサーチフェロー

(通訳担当)

森本謙 国際基督教大学 平和研究所アシスタント

お問い合わせ tel: 0422-33-3187 email: icupri@icu.ac.jp

日本における マイノリティと平和の課題 学際的対話からのアプローチ

